

# 第3章

## 計画の目標

- 1 目指す環境都市像
- 2 6つの目標



晩秋の御射鹿池（10月下旬）

## 第3章 計画の目標

### 1 目指す環境都市像

市民・事業者・滞在者・市の各主体が連携しながら行動し、本市の優れた自然環境や生活環境、快適環境、地球環境を次世代へ引き継ぐことを目指し、目標年次の2027年度における「目指す環境都市像」を第1次計画に引き続き、次のように定めます。

八ヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市



## 【目指す環境都市像が示す意味】

### 八ヶ岳の豊かな自然

八ヶ岳を中心とする急峻な山岳地とその山麓に広がる広大な森林は、豊富で良質な地下水・湧水の源であり、優れた景観を形成するなど、本市に豊かな自然の恵みを与え自然共生社会を形成しています。ここでは、八ヶ岳を豊かな自然の象徴としています。

### 自然と人が調和する

市民・事業者・滞在者・市の各主体が協力し、環境へ及ぼす影響を少なくし低炭素社会を目指すことにより、自然と人間が共生し、自然の恵みを将来にわたって享受できる循環型社会にふさわしい環境をつくることを示しています。

### 環境先進都市

民間主導による「美サイクル茅野」の活動、9種類 17品目の資源物分別収集など、これまで行ってきた先進的な取組を今後も積極的に推進し持続可能な社会を目指していくことを示しています。

杖突峠からの茅野市全景（6月中旬）

## 2 6つの目標

市民・事業者・滞在者・市の各主体の協働により「目指す環境都市像」を実現するために、基本となる目標を次のように定めます。

第1次計画では「茅野市環境にやさしいまちづくり条例」の理念を踏まえ、その基本方針に沿って、6つの目標と15の方針を設定し、目標を達成するために取組を進めてきました。本計画では、第1次計画の目標、方針を見直し、6つの目標と9つの方針を設定し、計画を進めていきます。

### I 自然の恵みを大切に受け継ぐまち －良好な自然環境の確保－

多様な動植物が生息・生育する環境や、良質な里山、農地、水資源を保全し、人と自然が共生する健全な地域生態系がもたらす自然の恵みを将来にわたって享受することができるまちを目指します。

### II 安全で人にやさしいまち －安全な生活環境の確保－

培ってきた知恵と最先端の技術により、人の生活や活動が環境へ及ぼす影響を低減し、安全で安心して暮らすことができるまちを目指します。

### III うるおいとやすらぎのある快適なまち －快適環境の確保－

うるおいや、やすらぎをもたらす身近な緑や水辺、景観を保全するとともに、縄文時代から続く風格ある文化を伝承するまちを目指します。

### IV 環境への負荷が少ないまち －循環型社会の構築－

人の生活や活動に伴って発生する廃棄物を抑制するとともに、安全で快適な環境への負荷の少ない持続可能な循環型のまちを目指します。

### V 地球環境にやさしいまち －低炭素型まちづくり－

省エネルギーを推進するとともに再生可能エネルギーの利活用を進め、地域から地球温暖化の防止に貢献するまちを目指します。

### VI 協働で環境づくりに取り組むまち －連携・参加と環境学習－

市民・事業者・滞在者・市の各主体が参加し、協働で環境保全に取り組む、豊かな自然と人が調和するまちを目指します。